

シー オー ピー ディー COPDは

慢性閉塞性肺疾患

タバコ等で肺が こわれる病気です

COPD(慢性閉塞性肺疾患)は、主に喫煙者、喫煙歴のある人に多い病気です。

タバコの煙には、約4,000種の化学物質が含まれています。この中には、ニコチン、タール、一酸化炭素のみならず、人体に悪影響を及ぼす、数多くの有毒物質が含まれています。タバコの煙に含まれるこれらの有害な物質が、気管支や肺を傷つけることにより、肺胞がこわれたり、気管支に炎症が起きたりします。

息切れのために日常生活が困難になったり、進行すると酸素吸入が必要となり、生命にかかわる病気です。

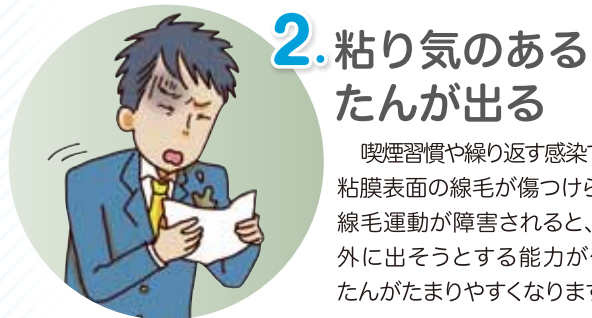
喫煙以外の原因として、大気汚染や職業的な塵埃や化学物質などがあります。

また、受動喫煙によってもCOPDは発症することがあります。

こんな症状が 出たら注意

1. 風邪をひいて いないのに咳が出る

しつこく続く慢性の咳とたんや、風邪をひいたときや体を動かしたときの喘鳴(ぜいぜいすること)も、COPDの症状です。



2. 粘り気のある たんが出る

喫煙習慣や繰り返す感染で、気道粘膜表面の線毛が傷つけられ、線毛運動が障害されると、たんを外に出そうとする能力が低下し、たんがたまりやすくなります。

3. 階段の上りなどで 息切れがする

特に体を動かしたとき(例えば階段を上り下りするときや坂道を上るとき)に気づきます。

また、同年代の人と一緒に歩いていて、他の人より歩くペースが遅れてしまう、といったこともみられます。



COPDは、左記の症状がなく、気が付かないうちに進むこともあり、発見が遅れがちとなるため、注意が必要です。

左記のような症状があったときには、COPDを疑って早めに病院を受診しましょう。



タバコを長年吸い続けることで、肺がんや心筋梗塞になりやすいといわれていますが、タバコと一番密接に関係する病気がCOPDです。

タバコの煙により肺に炎症が起こると、気道と呼ばれる空気の通り道が狭くなるために、呼吸がしにくくなって息切れを感じるようになります。

さらに、気道の先につながった袋状の肺胞が破壊されてしまい、酸素と二酸化炭素の交換がうまくできなくなります。



COPDは治療可能な疾患です。

早めの治療が重要です

COPDを治療することにより、病気の進行を遅らせ、息切れなどの自覚症状を軽くし、運動能力を高めます。治療を行うことで、同年代の健康な人と同じような生活を送ることができます。

COPDの実際の治療は禁煙が第一で、それに薬物治療や呼吸リハビリテーションなどの方法を組み合わせて行います。

